

2011年3月期 決算説明会

(2010年4月1日～2011年3月31日)

株式会社 精工技研

2011年 5月17日

- I . 2011年3月期 連結決算概要
- II . 長期経営計画「マスタープラン2010」
進捗状況と今後の事業展開
- III . 2012年3月期 連結業績見通し

I . 2011年3月期 連結決算概要

II . 長期経営計画「マスタープラン2010」 進捗状況と今後の事業展開

III . 2012年3月期 連結業績見通し

2011年3月期 連結決算ハイライト①

(百万円)	2011年3月期	2010年3月期	対前期 増減率	業績予想値 (2010/11/12)
売上高	4,779	4,683	+2.1%	4,830
精機部門	893	906	△1.5%	900
光製品部門	3,886	3,776	+2.9%	3,930
営業利益	△164	△925	—	△195
経常利益	△19	△716	—	△135
当期純利益	△512	△1,342	—	△745

2011年3月期 連結決算ハイライト②

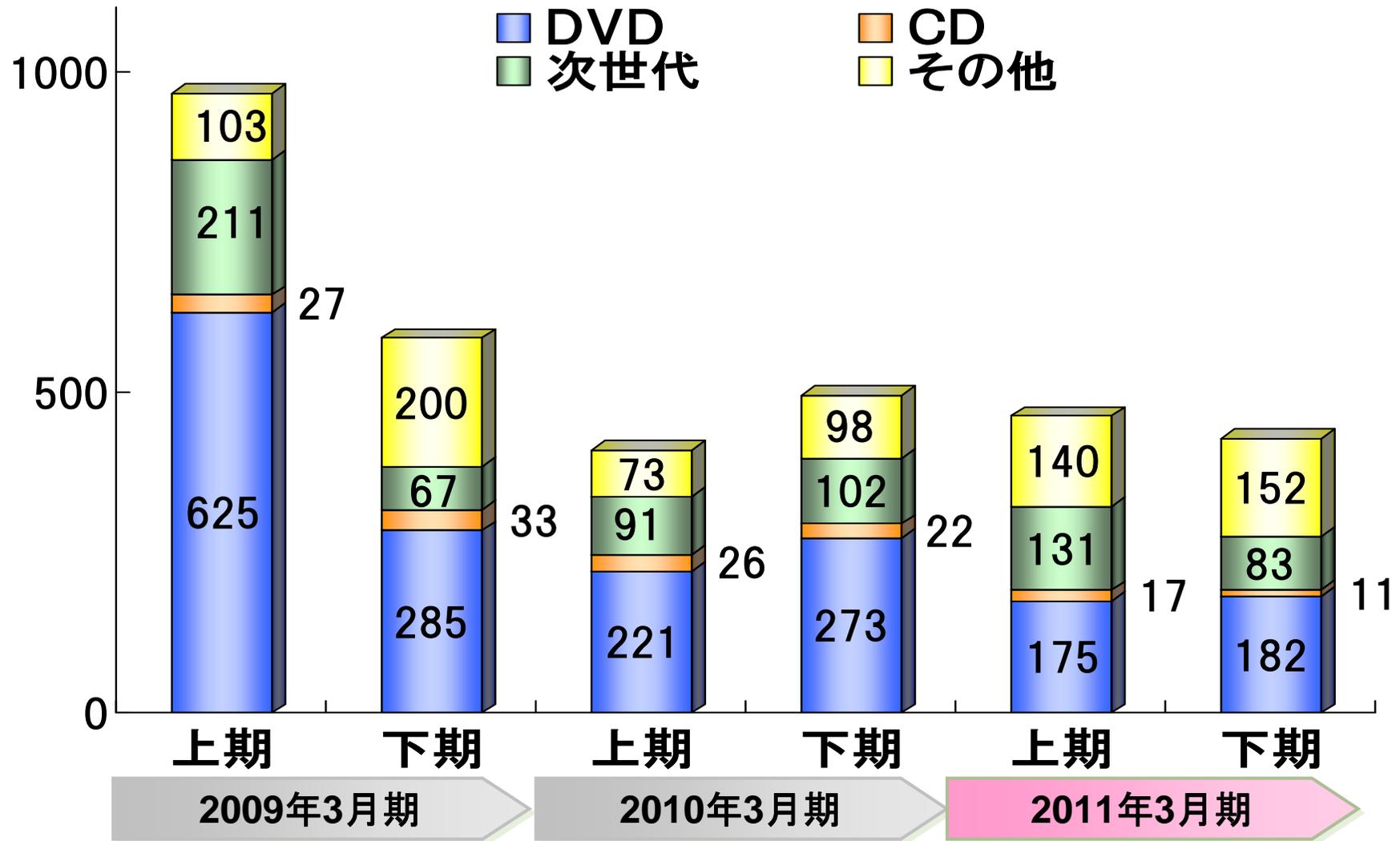
(百万円)	2011年3月期	2010年3月期	対前期 増減率
受注高	4,871	4,693	+3.8%
受注残	499	407	+22.6%
設備投資	320	403	△20.5%
減価償却費	287	489	△41.3%
研究開発費	435	642	△32.2%

セグメント業績／精機部門

(百万円)	2011年3月期	2010年3月期	対前期 増減率
売上高	893	906	△1.5%
営業費用	1,248	1,623	△23.1%
営業利益	△354	△716	—
営業利益率	△39.7%	△79.0%	+39.3%

製品別売上高／精機部門

百万円

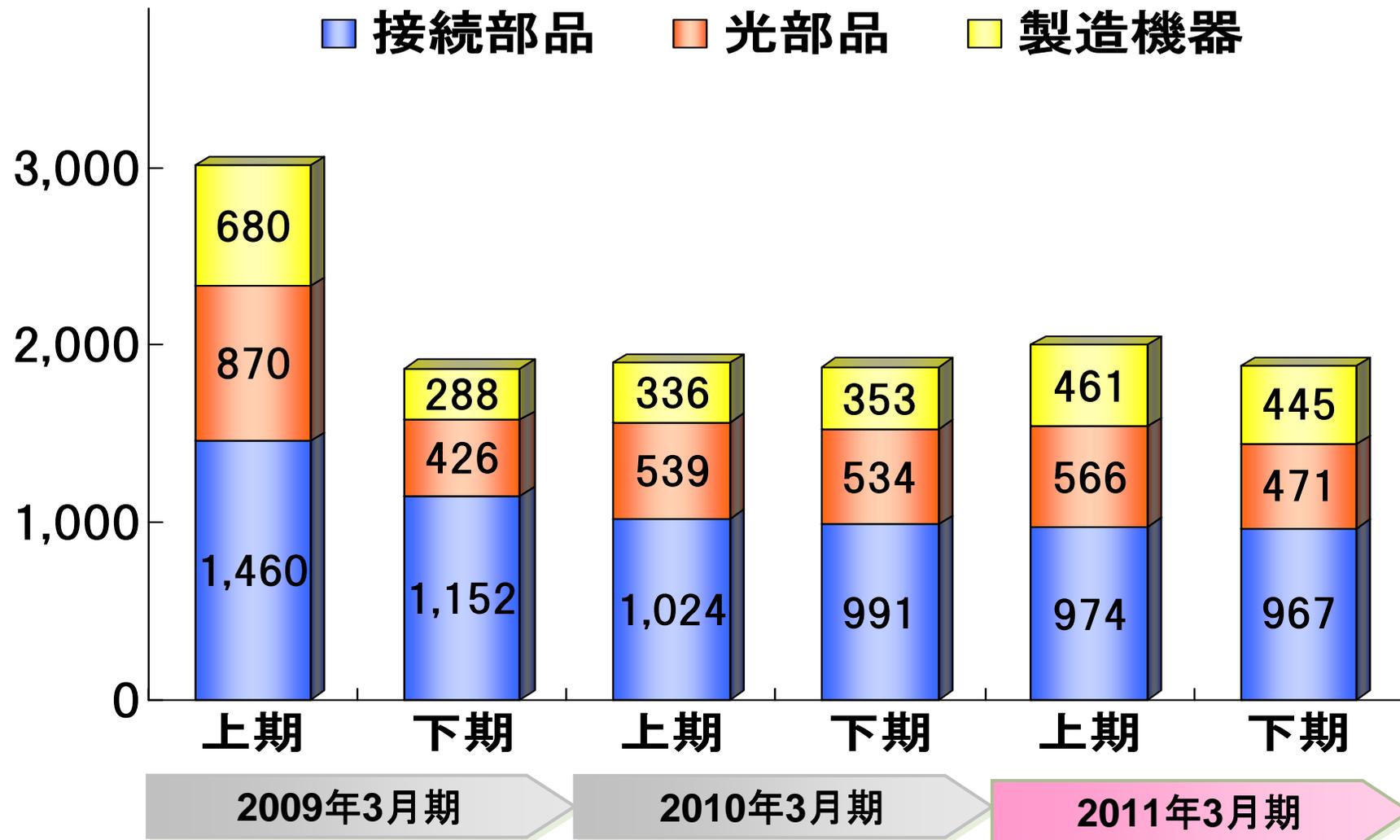


セグメント業績／光製品部門

(百万円)	2011年3月期	2010年3月期	対前期 増減率
売上高	3,886	3,776	+2.9%
営業費用	3,695	3,985	△7.3%
営業利益	190	△208	—
営業利益率	4.9%	△5.5%	+10.4%

製品別売上高／光製品部門

百万円



連結貸借対照表

(百万円)

科目	2011年3月期	2010年3月期	増減額
＜資産の部＞			
流動資産	15,203	15,654	△451
固定資産	5,385	6,005	△620
資産合計	20,588	21,660	△1,071
＜負債及び純資産の部＞			
流動負債	681	954	△272
固定負債	600	626	△26
純資産	19,306	20,079	△772
負債純資産合計	20,588	21,660	△1,071

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

項目	2011年3月期	2010年3月期
営業CF	△320	30
投資CF	391	△436
財務CF	0	△158
現金増加額	△46	△547
期首残高	1,671	2,218
期末残高	1,624	1,671

- I . 2011年3月期 連結決算概要
- II . 長期経営計画「マスタープラン2010」
進捗状況と今後の事業展開**
- III . 2012年3月期 連結業績見通し

「マスタープラン2010」 骨子

1. 事業の再構築

経営資源の選択と集中を行い、筋肉質な企業体質を構築する。

2. 事業拡大戦略

グローバル・マーケットインの営業戦略と商品戦略により、事業拡大を図る。

3. 組織の変革

機能別組織体制へ移行すると共に独立採算運営、損益責任の明確化を図る。

「マスタープラン2010」の進捗

1. 事業の再構築

重点施策	実施状況
◆ 不採算事業・不採算製品の見直し	アイソレータ生産撤退 マイルストーンの事業縮小
◆ 拠点体制の最適化	香港精工技研の休眠化 工場の集約（第4工場 ⇒ 本社工場）
◆ 開発投資の選択と集中	開発案件の絞込み実施
◆ 経営資源の適正化	希望退職者募集の実施 第1工場の売却

「マスタープラン2010」の進捗

2. 事業拡大戦略

重点施策	実施状況
◆ 中国市場の営業強化	杭州精工技研の営業組織強化
◆ 新規ビジネスの開拓	新規事業開拓専任者設置

3. 組織の変革

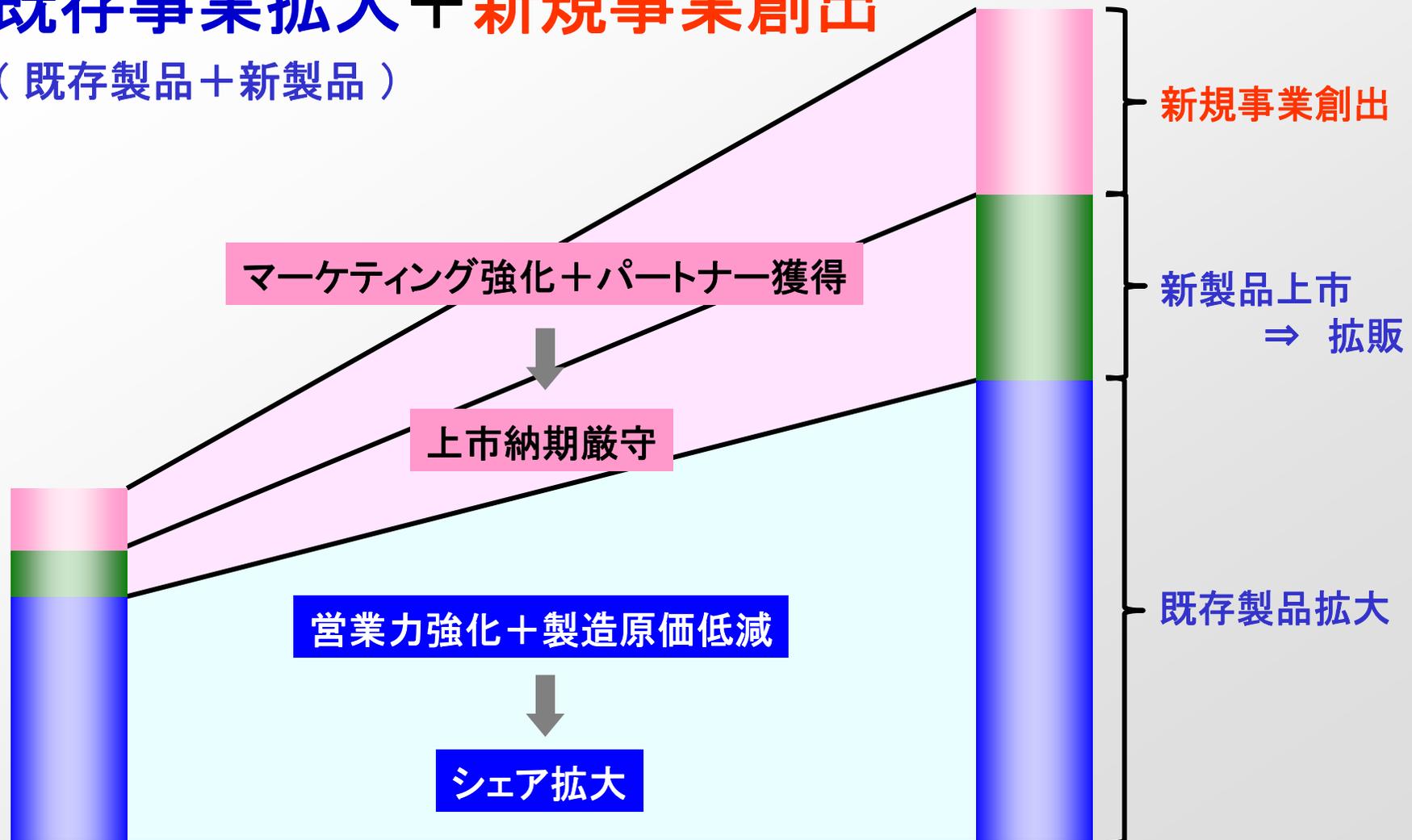
重点施策	実施状況
◆ 組織の改編	営業・技術開発・製造の機能別組織へ
◆ 採算の見える化	組織単位別の採算管理手法を導入

2011年3月度 単月黒字化達成

長期発展イメージ

既存事業拡大 + 新規事業創出

(既存製品 + 新製品)



今後の経営方針

1. 黒字化（税引前利益ベース）

2. 経営基盤の確立

⇒ 利益を生み出す強固な経営基盤を確立する

① 販売体制の強化

② 価格競争力の強化

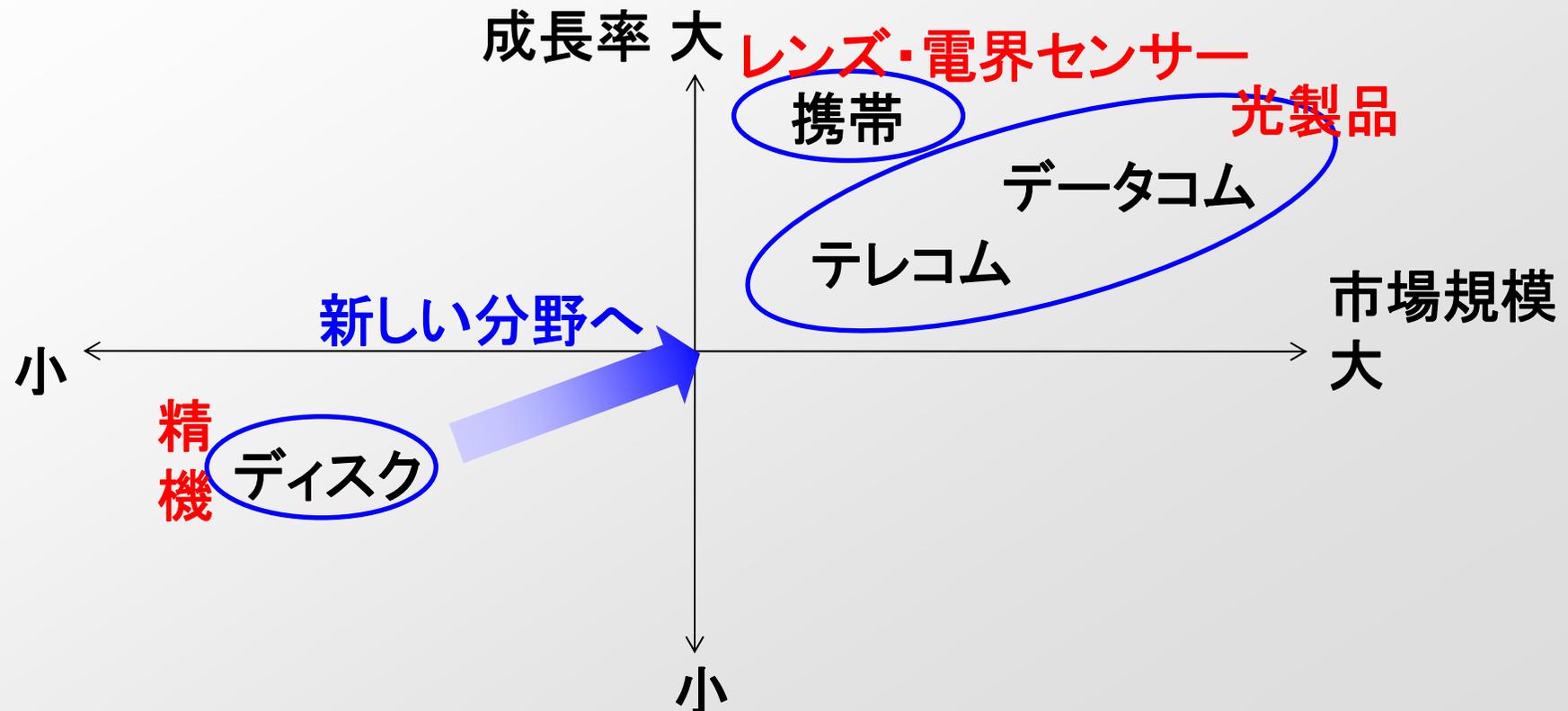
3. 新事業・新製品の基盤強化と創出

⇒ 次代を担う新事業・新製品の創出を加速する

経営基盤の確立／① 販売体制の強化

I. 市場選択方針

- i) 規模があり、成長する(成長している)市場へ集中
- ii) 縮小する市場からの転換



経営基盤の確立／① 販売体制の強化

Ⅱ. 地域別方針

- i) アジア市場開拓

Ⅲ. 事業別方針

- i) 光製品

- ・ 価格競争力強化
- ・ 営業体制強化（欧・米、アジア）

- ii) 精機

- ・ ディスク金型受注維持しつつ、新分野開拓を急ぐ
- ・ 成形品事業開拓

- iii) レンズ

- ・ 携帯用レンズ受注拡大しつつ、新分野開拓を急ぐ
- ・ 新製品の開発・量産化
- ・ 顧客開拓

経営基盤の確立／② 価格競争力の強化

- I. グローバル経営体制の確立
- II. 製造・販売・技術開発の連携
- III. 製造部門の収益向上
- IV. 組織毎・製品毎の採算
- V. 資材調達力の強化

新事業・新製品の基盤強化と創出

I. 新製品の上市・拡販

- ・ ハイパワー対応用コネクタ・アイソレータ
- ・ LN変調器の技術応用
- ・ 新レンズ 等

II. 新分野の開拓

- ・ 資源・エネルギー・環境分野
 - ・ 医療・健康・福祉・生活分野
 - ・ 車載
- i) マーケティング力強化
 - ii) 他社との積極的なアライアンス
⇒ パートナーをつくる

「マスタープラン2010」業績目標

- ◆ 2011年度黒字化（経常利益ベース）
- ◆ 2015年度に売上高100億円、経常利益14億円を達成する



- I . 2011年3月期 連結決算概要
- II . 長期経営計画「マスタープラン2010」
進捗状況と今後の事業展開
- III . 2012年3月期 連結業績見通し

2012年3月期 連結業績見通し

(百万円)	上半期	下半期	12/3月期 見通し	11/3月期 実績
売上高	2,640	2,790	5,430	4,779
営業利益	△70	0	△70	△164
経常利益	20	100	120	△19
当期純利益	10	50	60	△512
設備投資			147	320
減価償却費			276	287
研究開発費			268	435

2012年3月期 連結業績見通し（部門別）

（百万円）

	上半期	下半期	12/3月期 見通し	11/3月期 実績	対前期 増減率
精機関連					
売上高	610	690	1,300	893	+46%
営業費用	670	780	1,450	1,248	+16%
営業利益	△60	△90	△150	△354	—
光製品関連					
売上高	2,030	2,100	4,130	3,886	+6%
営業費用	2,040	2,010	4,050	3,695	+10%
営業利益	△10	90	80	190	△58%

ご清聴 ありがとうございます。